

陸上運動部部便り

2006年11月号

箱根駅伝予選会

目次

1	箱根駅伝予選会	1
1.1	監督の言葉	1
1.2	長距離チーフの言葉	2
1.3	大学院駅伝主将の言葉	2
1.4	新長距離チーフの言葉	2
1.5	出場選手の言葉	3
1.6	試合結果	7
2	自己記録更新者一覧 2006.10.9~10.29	7
3	2006年度部内5傑 2006.10.29現在	8
4	行事予定	9
5	主務より	10

1 箱根駅伝予選会

1.1 監督の言葉

予選会 学部チーム25位、院生チーム30位

監督 寺田 秋夫

第83回箱根駅伝予選会は、今年も立川昭和記念公園地区で行われました。

コンディションも良く、記録的に期待がもたれましたが、コースが序盤は長い直線、終盤に折り返しポイントがあったりと、リズムに乗れない選手は走りにくいコースです。今年は学部・大学院ともチーム記録更新が目標で、学部は夏以降の合宿のやり方に工夫したりして仕上がりとしてもまずまずで4番手以降が67分のペースで集団で行ければ達成可能、一方、院生は、今年は補欠まで持つ層の厚さで、11時間35分09秒の記録更新は10番手までがそれなりに走れば可能だろうという状況でした。

レースはスタートと同時に専修の座間と神奈川の中山がハイペースで飛び出し2kmくらいで上位の200名

程度は2,3列の長い塊になり選抜チーム入りの期待もかかる松本(3年)が良いリズムで180位程度、やや重い動きながら石原(3年)が210位程度で通過していきます。もう一人の期待の院生中山(M1)は体も絞れてきて石原の直後ろを淡々と通過して行きますが、選抜チーム入りの目安となる62分切り150番以内は難しいか、という状況です。この段階で、新興の松蔭大が4,5名通過しており、学習院・駿河台のペースも通過しており、選抜チームメンバーは一匹狼が多くなりそうな状況です。中山の後は後続が続かず、30秒近く離れて斉藤(3年)が来ると小山、山崎のD2コンビが続き、20m程度の間隔で次々に通過しますが、序盤であればもう少し集団で走れても良いペースかと思われました。

5kmポイントでは、松本・石原・中山とも順位を上げて通過し、山崎(1年)がリズムにはまり4年生を差し置いて中盤に上がり、また、2kmでは硬さが見られた梶井(2年)の走りが良くなり、若手の後半の活躍に期待がもたれましたが、4年生が悲壮な感じの走りで、後半が心配されました。院生では深瀬(M2)が順位を上げて16分前後で通過、後続は離れますが17分前後で楽に通過しそこそこの結果が期待されました。

15kmになると、専修座間が59分程度のペースで独走態勢となり後続は20秒近く離れて、中学大が引っ張る形で早稲田の大集団と明治・神奈川が次々に通過していきます。松本は余裕ある走りでトップから90秒遅れの120番台で通過し、本戦に行けなような大学で数えて11番目の通過で期待が持てます。その後石原は普段の切れはないものの、63分台のペースで通過、中山も直に続きますが、期待はしていたものの、60秒差で深瀬が麗澤・筑波の集団にまぎれて通過の大健闘です。深瀬から40秒近くはなれて、斉藤が行くと、次に来たのは40秒差で山崎、そこから30秒程度離れて、4年生が続々と通過し、また梶井が良いリズムで迫ってきて、11時間5分を切れそうな状況です。

結局、松本は最後に脚に来てしまい115位(62分19秒)、石原が最後はいつものスパートで177位(63分

34秒)、中山も良く続き184位(63分49秒)でしたが200位以内はここまで。深瀬の65分24秒の242位は自己新でもあり立派です。

その後、斉藤・山口と続き、4年生も最後までペースを守り67分台で続々とゴールしますが、総合では学部は総合で昨年より4分上げるも順位は1つ落ち25位(11時間09分51秒)、院生は反対に順位を一つ上げ30位記録も11時間40分14秒で昨年記録を3分上りました。(チーム記録は1昨年の11時間35分9秒でした、速報したチーム記録更新は誤りです失礼しました。)

本戦出場は、インカレポイントなる不可解な制度により、本来楽に通過したはずの拓殖が1秒に泣き、早稲田・専修・中学・国学院・神奈川・明治・城西・大東・国土の9校となりました。予選通過ラインはインカレポイントがなければ10時間18分30秒とコンディションの割には上らず、麗澤・青学あたりが昨年の結果を考えると停滞しており、東大も10時間台を確実にだす練習を重ねていけば、もう少し課題と目標が明確になると感じました。まずは10時間台をきちんと出して慶応あたりと同等以上に走ることです。

いつのころからかの伝統で、レース後に引退の選手の言葉の会があり、最後まで会場にとどまったのは東大でした。それぞれのレベルで、皆、良い事も言うのですが、箱根予選会の際はレベルの差をまざまざと見せられるだけに「その思いをもっと競技結果に残せればな」と毎回、感じます。近年の残念な傾向で4年生が気負いすぎか本番でよい結果が出ないこともあり尚更でした。

松本が、選抜チーム召集の一番下あたりの結果だったので、召集され、この後調子を上げて本戦に選ばれればと思います。

課題は山積ですが、再び箱根に出るにはまずは、「いつかは必ず出るんだ」という意識を持ち続ける事が肝心です。

今後も変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

1.2 長距離チーフの言葉

長距離チーフ 片岡 哲朗

早朝からたくさんのOB・OGの皆様にご足をお運びいただき、ありがとうございました。随所で応援していただき、選手にとってたいへん力になりました。結果は11時間09分51秒で25位でした。前後の大学からはほぼ例年通りの位置ではありますが、新興の大学が上位に入ったことなどから25位という順位になり、

決して満足いくものではありません。タイムは東大歴代7位の記録とはなりましたが、目標は歴代1位の10時間52分、悪くても11時間を切るというものでしたし、夏から直前期にかけては目標達成できるのではないとも言われ、そう信じて練習してきただけに、実力が出し切れなかった選手が多かったと悔やまれます。

今年のエントリーは3度目の予選会となる3、4年生7人を中心に、初出場の5人がどこまで力を出せるかという布陣でしたが、終わってみれば、予想通り3年生3人が続けてゴールし、1年生2人は頑張り、4年生は今一歩、という印象です。今年5人が走った4年生は抜けますが、来年に向けて新チーフの松本を中心に、院生とも切磋琢磨しながら新たなチームを作っていくってできることと思います。

1.3 大学院駅伝主将の言葉

大学院駅伝主将 深瀬 剛正

一昨年の初出場から数え、今年で院チームの出場も三回目となりましたが、メンバーが増えたため学内選考を行うまでになりました。

補欠も含め14人までエントリーし、チームとしての意識も高まりました。11時間20分と高めに設定した目標には届かなかったものの、去年より順位、タイム共にあがり、個人では中山(M1)が63分台と快走しました。また、初出場となるメンバーを5人も出場させることができたことも良かったと思います。来年は力のある新M1が入ることで、更に盛り上がっていくと思いますが、チームとして記録を伸ばしていくためには、10人までしっかりとタイムで走れることが必要です。普段の合同練習など、中々行えないのが現状ですが、より一層工夫して上を目指して欲しいと思います。

最後になりますが、朝早くから応援に駆けつけて下さった多くの方々、また、普段から院チームの練習に参加して引っ張って下さったOBの方々に、深く御礼申し上げます。

1.4 新長距離チーフの言葉

新長距離チーフ 松本 翔

10月21日。私たちが1年間最大の目標としていた箱根駅伝予選会が終わりました。OBの皆様や部員一同の力強い応援を背に懸命に走ったものの、力及ばず、目標の東大記録とは程遠い結果となりました。

昨年の予選会を走ったメンバー5人が卒業したものの、そのときの上位6名がそのまま残り、充実した戦力で今のチームはスタートしました。その後の記録会では各自ベストを更新するなどチームとして良い状況にあったのですが、春以降から勢いがなくなり、夏以降の走りこみ調整の流れもうまくいかなかったな、と僕自身は分析しています。それは特に4年生を中心としたチームの主力に顕著でありました。それが今回の結果に表れていると思います。

そして予選会のメンバー5人を数えた4年生が卒業し、これから新チームが出発します。今のところは選手層の薄さが否めません。しかしこれからは部員が一致団結し、また他校と切磋琢磨することで、競技者として「強く」なりたいと思います。OBの方々の応援の応えられるよう、日々精進していきますので、ご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

1.5 出場選手の言葉

学部生

松本 翔 (3年) 62'19 (115位)

年に一度の大舞台、今年も箱根駅伝の予選会を走らせていただきました。今年は夏以降から練習が繋がりはじめ、徐々に体も出来て、久しぶりにまともな状態で臨むことが出来ました。とくに直前の調整では選抜に選ばれた2年前に匹敵するくらいで走れたので、自信を持ってスタートラインに立ちました。

レースは最初は集団に付いていき、5kmを15分10秒、10kmを30分35秒で通過。公園内に入るとペースが落ちるも、しかし十分選抜内には入れるくらいのタイム&順位で推移していました。しかし15kmを46分14秒で通過したとき、左のふくらはぎが「びきっ」と悲鳴を上げて、筋肉が思うように動かなくなります。頑張ろうと思った矢先の出来事で、悔しくも残り5kmはペースを落とさざるを得なくなりました。ラストも足の様子を見ながら恐る恐る走ってのゴールで、満足にスパートもままなりませんでした。

やはり、20kmをしっかりと走りきるには、それなりの速いペースで長い距離を踏む必要がありました。ジョグでの土台作りと最後の調整では、20kmで勝負する体が出来ていなかったのだと感じます。学連選抜に入れるかは厳しいところですが、今はしっかりと練習を積み、年末の記録会で結果を残し

たいと思います。それが箱根へのアピールと、また来年への布石になると考えていますので。

この度は多大なる応援・ご支援、有難うございました。以降、長距離チーフとして1年間頑張りますので、ますますのご協力をお願いします。

石原 宏尚 (3年) 63'34 (177位)

京大戦前からの腰のはりが取れず最後の調整もいまいちうまくいかず不安でしたが一応目標としていた64分切りは達成できました。スタートからの5kmはうまく集団についていき15'34で通過、しかし市街地に出てから集団がばらけ自分が引っ張る形となってしまう10kmは31'35で落ちてしまいました。公園内に入ってからうまくアップダウンを利用してペースを維持して走りラスト1kmもスパートできました。しかし、スパートのかけるのが遅かったのかゴール後も少し余裕があり反省しています。結果だけ見ると満足できますが、内容はいまいちでした。来年、学部で最後の箱根駅伝予選会は62分切りを目指し、この秋シーズンは5000mは14'40切り、10000mは30'30切りを目標に頑張りたいと思います。今後のご支援よろしくお願ひいたします。

斉藤 俊 (3年) 66'44 (295位)

今回は東大記録更新のために、65分を切ることを目標に走りました。夏期に行なった3回の合宿では特に故障もなく十分な走り込みができ、過去2回に比べてもかなり順調な仕上がりででした。しかし本番は、3'15/kmで押せるところまで押すという当初の予定が大きく狂い、ラップは16'20-16'39-16'48-16'55、ゴールタイムは66'44でした。特に5~10kmの平坦な箇所ではラップを落としてしまったのは悔やまれます。3'15のペースの練習をほとんどしていなかったことが、守りの走りにつながってしまいました。5000mのタイムでは勝っている他大の選手にも先行されてしまったのは、ひとえに走行距離の不足にあったのだと思います。合宿以降も継続して朝練習を続けるべきでした。来年は主戦力だった4年生が抜けてしまい、予選会はもちろん、普段の練習でも不安があります。しかし、今回の悔しさを忘れずに、最高学年としての自覚を持ち、仲間とともに強くなっていきたいと思います。ご声援ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

山崎 貴裕 (1年) 67'28 (309位)

入部時からこの予選会を最大の目標として努力を重ねてきました。箱根駅伝は小さい頃からの憧れであり、夢です。その夢の路へと続くこの大会で走れて本当に光栄です。

スタート前の場の雰囲気がたまらなく、「早く走りたい」、「満足いく結果を出すぞ」と、わくわくして落ち着きませんでした。レースでは5kmを16'26"と落ち着いて入り、10kmを33'14"とほぼ予定通りで通過しましたが、公園内に入って細かなアップダウンで足が疲れペースが落ちてしまいました。苦しい、つらい、と何度も気持ちが切れそうになりましたが、沿道の部員、OB・OGの皆様、一般の方々の熱い応援が背中を押して下さい、自分に負けずに走りきれました。ゴールタイムは67'28"で、部内4位と満足いく結果が出てよかったと思います。来年はさらに力をつけ、総合タイムを縮める役目を果たしたいと思います。今後とも応援よろしくお願い致します。

黒澤 徹也 (4年) 67'53 (320位)

学内では最後の予選会、2年から走らせてもらっていて、応援がすごくて楽しくて、この大会は毎年楽しみにしていました。今年うまく調整できたわけではありませんが、それでも最後の総決算として、せめて66分は切ろうと思ってレースに臨みました。入りの5キロは16'15"とある程度余裕をもって入れたのですが、いかにせん今年は中距離を中心にやってきたこともあり、まだ気持ちが長い距離は持たず、8キロあたりで落ち始めるとその後はずるずると後退してしまいました。こんなに早くつぶれてしまって、まずいと思いましたが、切れ目なく受ける声援のおかげでなんとかふんばりゴールにたどり着くことができました。レース全体として散々な結果ではありませんでしたが、ラスト400mは今まで一番と言っていいくらいスパークできましたし、明るい面もあり、今後につながる部分もありました。これを糧にまた頑張っていこうと思います。4年として最後まで至らない面も多々ありましたが、応援にサポートに大いに力になりました。ありがとうございました。

岡田 良平 (4年) 67'56 (322位)

チームとして東大記録の更新を、個人としても自身の陸上人生の最高の走りをと考えていましたが、非常に残念な結果に終わってしまいました。競い合ってきた仲間の想いや、沢山の応援・ご支援

に応えることができず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。この4年間、思うような結果が残せませんでした。非常に多くの方々のご支援のおかげで競技を続けていくことができました。本当にありがとうございました。

片岡 哲朗 (4年) 68'02 (324位)

この予選会は現役として最後の試合であり、一年間最大の目標としてきました。4年間の集大成としたかったところですが、個人記録は過去3回の予選会でもっとも遅く、結果は満足できるものではありません。部内順位も昨年まで2,3番手でゴールしていましたが、今年は7番手でゴールとなり、チーフとしてチームの目標に貢献することができず、申し訳なく思っています。しかし、自分自身の夏合宿やその後の練習において、できることはすべてやったつもりですので、その点では悔いはありません。

この一年間OB・OGの方々をはじめ、多くの皆様に支えられてやってきました。競技の面でも些か頼りないチーフだったかもしれませんが、精一杯のチーム運営をしてきたつもりです。ありがとうございました。今後も大学院で競技を続けていき、記録を伸ばしていきたいと思っています。

千島 悠司 (4年) 68'06 (325位)

12キロまではいいリズムで走れましたが、公園のアップダウンで脚がきつくなり、目標の65分には遠く及びませんでした。スタート前はやれるだけのことはやって、悔いはない気持ちで臨みましたが、4年という立場にありながら学内8位で終わり、チームに貢献した走りができず非常に悔しいです。そして今思えば、夏に怪我をしてしまったことや、その他様々な準備不足が考えられます。

幸い大学院でも出場のチャンスがあるので、来年こそ十分に準備をして目標を達成したいと思います。

当日は朝早くから多くのご声援ありがとうございました。

野村 圭吾 (1年) 68'08 (327位)

長距離の練習に参加したのは妙高合宿の5日間と京大戦後の2週間程度で、十分に距離を踏まずに本番を迎えてしまいました。キロ3分20秒ペースでいけるところまでいこうと思っていて、10キロは自己ベストの33分25秒で通過したのですが、

公園内のアップダウンに苦しみ、徐々にペースが落ちていきました。さらに残り5キロで腹痛に襲われ、不完全燃焼でゴールしてしまいました。最後に力を出し切れなかったことは大変悔やまれますが、今回の不本意な結果は単純にスタミナ不足が原因です。今後は中距離に戻りますが、普段のジョグの量を増やすなどして、来年はしっかり距離を踏んだうえで臨みたいと思います。最後になりましたが、応援していただいた皆様、本当にありがとうございました。

梶井 俊介 (2年) 69'41 (365位)

この一年間目標としてきた予選会に臨むにあたって、調整は順調でした。レース序盤もかなり好調で、10kmの通過は自己ベスト(34分17秒)でしたし、そのあとの5kmも17分30秒と、想定した通りのタイムで通過することができました。しかしラストの5kmでお腹が痛くなり、そこからはただ走っているだけという状況になってしまい、不完全燃焼のままレースを終えました。一年間の区切りとして挑んだレースということもあって、大変煮え切らない気持ちが強いですが、この気持ちを忘れずに、またこれから一年間頑張ろうと思います。

和田 光一郎 (2年) 73'08 (436位)

レース序盤から身体の動きが悪く、後半にかけて大きくペースを落とすこととなり、十分に力を出し切れないうちに終わりました。夏合宿以来、順調に練習を積むことができおり、また、直前の調整もうまくいっているという印象を持っていたため、このような結果に終わり非常に残念です。多くの方の期待や信頼を裏切る結果となり、本当に申し訳ありません。この悔しさをばねに、今後は専門の競歩で関東インカレでの得点を目指します。周囲の期待や信頼に確実に応えられる選手として大舞台に立つことができるように努力する決意です。最後になりましたが、応援・サポートをいただきました皆様、本当にありがとうございました。

鈴木 崇人 (4年) 73'08 (437位)

一年生の頃から四年目の予選会を目標に練習してきて、初めて出場することが出来ました。しかし、緊張したためか当日は一時間程度しか眠ることができず体調を崩しました。さらにチームの合計タイムの短縮に貢献するために、学内10位を

目指して自分の実力を超えたペースで走ったので、途中で失速してしまいました。それでも、応援していただいた皆様には申し訳ありませんが、自分の結果に満足は出来ないものの後悔はしていません。一緒に練習してきた仲間からOB・OGの方まで、今までありがとうございました。

大学院生

中山 陽右 (M1) 63'49 (184位)

今回、予選会への参加は初めてとなります。練習の流れなどから、目標はあわよくば63分切りというものでしたので、63分49秒という結果は、まずまずよいものだと思います。応援が途切れることなく続くコースは、走っている間ずっと力をもらい続けることができ、楽しく、気持ちよく走ることができました。そして、多くの方々に早朝よりサポート・応援・補助員など多方面に渡り支援していただきました。この場をお借りして深謝申し上げます。

深瀬 剛正 (M2) 65'24 (242位)

今年は長距離の北海道合宿にも参加し、去年よりは練習が積めていたので、自信を持って当日に臨みました。記録は自己新でしたが、直前の調子や、5kmの入り方が速すぎたことを考えると、もう少し上を狙えたと思います。記録には満足していませんが、共に練習し、試合を戦ってきた院生や学部生と、また予選会を走れたことには満足しています。当日は朝早くからのサポートや応援、ありがとうございました。

小山 剛史 (D2) 68'35 (338位)

応援してくださった方々、ありがとうございました。10km以降のアップダウンで走りのリズムが悪くなり、ペースが1kmあたり12秒ほど遅くなってしまいました。

今回のレースでは特に脚力の衰えを痛感しました。来年は院生チームの走力レベルが上がります。その中で私は8回目の予選会出場を目指します。

中原 健二 (M1) 68'53 (343位)

大学院生になってもチームとして試合に出られること、OB・OGの皆さまや後輩の声援を受けて走れることを嬉しく思います。

個人としては現状の力を出し切ることができ満足しています。今回から筑波大学大学院が出場するなど今後はライバル校が増えてきそうです。

また一年間チームとして予選会を目指して練習に励みたいと思います。

応援やサポートありがとうございました。

山崎 智裕 (D2) 69'56 (372位)

1キロ3分20秒で押していくつもりで臨んだ予選会でしたが、早い段階からきつさを感じてしまい、後半はずるずると落ちていくという展開となり、結果も目標タイムから大きく遅れたものとなってしまいました。

自分にとって満足のいかない結果となってしまい、とても残念です。来年の予選会は自分が出場できる最後の予選会となります。来年はもっと体力をつけて自分の満足できる走りをして悔いが残らないようにしたいと思います。

応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

村田 拓哉 (M1) 70'08 (376位)

大学院生となった今年もこの予選会に出場させていただき、うれしく思います。しかし、結果は練習不足を露呈するかたちとなり自分の実力の現状を痛感しております。来年はさらに院生チームの充実ぶりが期待されるので、チームとしても個人としても上を目指して練習をつんでいこうと思います。早朝より応援に来ていただいた先輩方、同輩、現役の皆さんありがとうございました。

高橋 竜一 (M2) 72'22 (419位)

院入学後はなかなか練習も思うように出来ず、不安も一杯でした。しかし、予選会前の一ヶ月間は徐々に現役時の「陸上馬鹿」な気持ちを思い出し、命一杯の練習が積めたように思います。結果的に部内七位という目標も達成でき、また徐々にオールアウトする気持ちを思い出すことも出来、非常に充実した大会となりました。

大学院入学という環境の変化は、それ以前に思っていた以上に影響あるものでしたが、それらを乗り越え、一時的とはいえ現役時の気持ちを取り戻せたことは、残り少ない学生生活において、またこれからの社会人生活において意味のあることだったと思います。

現役選手から見れば、見苦しく、納得いかない態度も目立ったかもしれませんが、それでも見放さず、むしろ当日は精一杯の応援をいただけたことは非常に幸せなことだと感謝しています。最後

まで陸上部員として競技に関わり続けることが出来て本当に楽しかったです。七年間本当にお世話になりました。これからはOBとして皆さんの活動を応援して行きたいと思います。

最後になりましたが、忙しい中、朝早くから至らぬ走りの応援に駆けつけていただきまして本当にありがとうございました。皆さんの応援のおかげで満足行く走りが出来ました。感謝しています。

松崎 孝大 (M2) 72'56 (432位)

最後の予選会に本調子で挑めなかったのは残念ですが、現状の力を出し切る走りができたと思います。応援してくださった皆様、そして共に競技に取り組んできた仲間感謝いたします。ありがとうございました。

庄司 一郎 (M1) 73'46 (447位)

これまで応援やサポートをすることはありましたが、出場するのは初めてでした。実際に選手として走ってみて、改めて大会規模の大きさを実感しました。前半ややハイペースで入ってしまったため、後半つらかったのですが、応援してくれた皆さんの声援のおかげで、なんとか大崩れすることなく完走できました。ありがとうございました。

村井 昂志 (M1) 74'25 (459位)

予選会への出場はおろか20kmというレースも初めてだった為、直前まで非常に不安がありましたが、きちんと走りきることができました。後半かなりペースは落ちましたが、前半の調子が非常によかったこともあり、満足のいく記録を出すことができました。沿道で皆様からの声援を頂くこともでき、出場できたことの素晴らしさをかみしめております。ありがとうございました。

吉田 和敬 (M1) 74'30 (462位)

今回は、大学陸上生活5年目にして初めて、憧れの舞台であった予選会に出場することが出来ました。ただ、1ヶ月前にかろうじて標準記録を切ったばかりであり、また、脚の状態も良くなく、十分な準備が出来たとはまったくいえない状態での出場となってしまいました。レースは、後半10キロはかなりきつかったのですが、応援に後押しされて何とか気持ちを切らさず走ることが出来ました。しかし、今回の結果には全く満足していな

いので、この借りを来年のこの舞台で返すべく、これから1年しっかり準備していこうと思います。応援に駆けつけて下さった皆様ありがとうございました。

小峰 輔 (M2) 76'02 (481位)

学生最後の年に、箱根駅伝の予選会という大きな舞台を経験させて頂くことができました。故障続きで思うように練習できず、コンディションとしてはよくない状態でしたが、皆さんの応援に後押しされて走り切ることができました。勝負する走りができず、完走目的になってしまったことだけは心残りです。しかし、皆さんの応援をこれほどまで有り難く感じたことは今までになかったと思います。苦しかったけど、楽しく走れました。御声援、ありがとうございました。

1.6 試合結果

第83回箱根駅伝予選会

於 自衛隊立川駐屯地～国営昭和記念公園
(H18.10.21)

総合順位		
順位	大学名	タイム
1	早稲田大学	10時間06分53秒
2	専修大学	10時間12分43秒
3	中央学院大学	10時間12分54秒
4	国学院大学	10時間14分06秒
5	神奈川大学	10時間14分37秒
6	明治大学	10時間16分35秒
7	城西大学	10時間16分06秒
		(10時間18分31秒)
8	大東文化大学	10時間16分34秒
		(10時間18分29秒)
9	国土館大学	10時間16分57秒
		(10時間20分47秒)
以上が本戦出場		
10	拓殖大学	10時間16分58秒
		(10時間17分08秒)
25	東京大学	11時間09分21秒

(11時間09分51秒)

30 東京大学大学院 11時間40分09秒

(11時間40分14秒)

7位以降の記録は、第85回関東インカレの成績に基づくアドバンテージタイムを差し引いた最終総合タイム。括弧内の記録はレースタイム。

個人順位		
順位	名前	タイム
東京大学		
115	松本翔	62分19秒
177	石原宏尚	63分34秒
295	斉藤俊	66分44秒
309	山崎貴裕	67分28秒
320	黒澤徹也	67分53秒
322	岡田良平	67分56秒
324	片岡哲朗	68分02秒
325	千島悠司	68分06秒
327	野村圭吾	68分08秒
365	梅井俊介	69分41秒
		11時間09分51秒
436	和田光一郎	73分08秒
437	鈴木崇人	73分08秒
東大院		
184	中山陽右	63分49秒
242	深瀬剛正	65分24秒
338	小山剛史	68分35秒
343	中原健二	68分53秒
372	山崎智裕	69分56秒
376	村田拓哉	70分08秒
419	高橋竜一	72分22秒
432	松崎孝大	72分56秒
447	庄司一郎	73分46秒
459	村井昂志	74分25秒
		11時間40分14秒
462	吉田和敬	74分30秒
481	小峰輔	76分02秒

2 自己記録更新者一覧 2006.10.9～10.29

10/14 日体大記録会 (日体大)

100m 中嶋毅明 11"82(+1.9)

10/28-29 東大競技会 (駒場)

800m	西川鋭 (1年)	2'10"73
800m	千徳恒憲 (2年)	2'07"11
1500m	山崎貴裕 (1年)	4'10"02
1500m	千徳恒憲 (2年)	4'19"16
1500m	板倉祥哲 (3年)	4'31"98
1500m	小野剛志 (4年)	4'14"34
5000m	山崎貴裕 (1年)	15'24"74
5000m	野村圭吾 (1年)	15'42"44
5000m	梶井駿介 (2年)	15'45"40
5000m	板倉祥哲 (3年)	16'51"47
5000m	斉藤俊 (3年)	15'31"30
110mH	武安光太郎 (2年)	16"47(+1.3)
400mH	尾崎翔 (2年)	58"84
10000mW	和田光一郎 (2年)	49'55"05
10000mW	菅野雄大 (3年)	50'18"69
棒高跳	大谷真人 (2年)	4m30
棒高跳	中村泰輔 (2年)	2m70
ハンマー投	寺島孝明 (1年)	31m34

10/29 国士大記録会 (国士大)

400m	深澤眞楠 (2年)	50"57
------	-----------	-------

3 2006年度部内5傑 2006.10.29 現在

男子 100m

1	渡辺 裕太 (1年)	10"93(+0.5)	7.30
2	石田 貴巳 (1年)	11"19(± 0.0)	7.30
3	田中 啓太 (3年)	11"20(+1.9)	5.3
4	斉藤 拓海 (2年)	11"23(+0.4)	7.30
5	尾崎 翔 (2年)	11"24(+0.8)	6.17

男子 200m

1	渡辺 裕太 (1年)	22"16(+1.9)	5.20
2	瀧山 健 (4年)	22"66(+0.7)	7.30
3	今村 岳 (3年)	23"15(+0.2)	7.30
4	三好 信哉 (4年)	23"54(+0.1)	7.30
5	福田 篤 (3年)	23"56(+1.3)	8.27

男子 400m

1	深澤 眞楠 (2年)	50"57	10.29
2	伊勢田 明弘 (4年)	50"72	5.27
3	今村 岳 (3年)	51"21	4.29
4	梶岡 利之 (2年)	51"40	7.8
5	小澤 聡 (3年)	51"46	10.14

男子 800m

1	新井 邦生 (4年)	1'53"50	5.21
2	黒澤 徹也 (4年)	1'56"66	6.25
3	小澤 聡 (3年)	1'57"48	5.5
4	野村 圭吾 (1年)	1'59"47	9.9
5	斉藤 俊 (3年)	1'59"55	7.8

男子 1500m

1	石原 宏尚 (3年)	3'59"84	4.2
2	黒澤 徹也 (4年)	3'59"87	4.29
3	松本 翔 (3年)	4'00"91	7.30
4	斉藤 俊 (3年)	4'01"56	4.29
5	新井 邦生 (4年)	4'04"33	4.2

男子 5000m

1	松本 翔 (3年)	14'48"68	10.28
2	石原 宏尚 (3年)	15'09"80	6.25
3	山崎 貴裕 (1年)	15'24"74	10.28
4	斉藤 俊 (3年)	15'31"30	10.28
5	野村 圭吾 (1年)	15'42"44	10.28

男子 10000m

1	松本 翔 (3年)	30'57"60	9.23
2	石原 宏尚 (3年)	31'20"20	9.23
3	斉藤 俊 (3年)	32'33"06	9.23
4	岡田 良平 (4年)	33'01"32	9.23
5	千島 悠司 (4年)	33'05"37	9.23

男子 110mH

1	尾崎 翔 (2年)	14"90(-0.2)	7.9
2	梅沢 啓 (4年)	15"51(+1.3)	10.8
3	武安 光太郎 (2年)	16"47(+1.3)	10.29
4	持永 新 (4年)	16"94(+0.7)	6.3
5	堀内 敦史 (2年)	18"32(+1.3)	10.8

男子 400mH

1	伊勢田 明弘 (4年)	56"27	7.30
2	相川 啓佑 (4年)	57"71	10.8
3	尾崎 翔 (2年)	58"84	10.28
4	門脇 啓太 (2年)	58"90	10.8
5	深澤 眞楠 (2年)	59"39	5.27

男子 3000mSC

1	石原 宏尚 (3年)	9'17"99	9.9
2	岡田 良平 (4年)	9'34"90	7.30
3	山口 健介 (3年)	10'01	6.11
4	山崎 大 (4年)	10'07"48	7.8
5	梶井 駿介 (2年)	10'31"04	6.18

男子 10000mW

1	和田 光一郎 (2年)	49'55"05	10.29
2	菅野 雄大 (3年)	50'18"69	10.29

男子 走幅跳

1	尾崎 翔 (2年)	7m42	7.8
2	竹内 昌男 (4年)	7m37	7.30
3	武安 光太郎 (2年)	7m01	4.29
4	相川 啓佑 (4年)	6m76	4.23
5	佐野 太郎 (4年)	6m43	7.8

男子 三段跳

1	武安 光太郎 (2年)	14m74	7.30
2	佐野 太郎 (4年)	14m46	5.14
3	倉員 智瑛 (3年)	14m42	7.30
4	深澤 眞楠 (2年)	11m87	4.2

男子 走高跳

1	田中 啓 (6年)	2m00	10.8
2	持永 新 (4年)	1m80	9.9
3	倉員 智瑛 (3年)	1m75	9.9
4	小福田 大輔 (2年)	1m60	7.30
5	木村 剛 (3年)	1m55	9.9

男子 棒高跳

1	大谷 真人 (2年)	4m30	10.28
2	持永 新 (4年)	3m80	7.8
3	木村 剛 (3年)	3m40	5.3
4	中村 泰輔 (2年)	2m70	10.28

男子 砲丸投

1	合田 隆彦 (4年)	11m18	4.23
2	持永 新 (4年)	11m00	4.1
3	小林 宗隆 (3年)	10m61	9.9
4	北川 昂広 (2年)	10m43	9.9
5	庄司 宇 (3年)	10m09	5.27

男子 円盤投

1	合田 隆彦 (4年)	38m55	7.30
2	小林 宗隆 (3年)	31m68	10.8
3	庄司 宇 (3年)	30m46	9.9
4	持永 新 (4年)	29m31	6.18
5	田上 遼 (4年)	28m09	7.30

男子 ハンマー投

1	庄司 宇 (3年)	38m99	7.30
2	合田 隆彦 (4年)	34m59	10.8
3	寺島 孝明 (1年)	31m34	10.28

男子 やり投

1	北川 昂広 (2年)	53m33	7.30
2	関原 孝之 (3年)	49m22	10.8
3	石井 仁也 (5年)	47m61	10.8
4	葉梨 輝 (2年)	41m30	9.9
5	持永 新 (4年)	41m15	4.2

男子 十種競技

1	持永 新 (4年)	5650点	6.17,18
---	-----------	-------	---------

女子 100m

1	小原 明恵 (4年)	12"99(+0.7)	7.30
2	大久保 渥子 (1年)	13"85(+0.4)	7.30
3	宮崎 彩 (3年)	15"42(-0.5)	9.9

女子 400m

1	小原 明恵 (4年)	61"21	7.8
2	日下 桃子 (1年)	63"09	9.9

女子 800m

1	日下 桃子 (1年)	2'21"17	7.30
2	向田 恵 (4年)	2'27"01	4.1

女子 1500m

1	向田 恵 (4年)	4'53"52	4.29
2	日下 桃子 (1年)	5'08"65	9.9
3	清水 里紗 (4年)	5'37"14	9.9

女子 3000m

1	向田 恵 (4年)	10'25"92	5.27
2	清水 里紗 (4年)	12'29"96	10.8

女子 棒高跳

1	宮崎 彩 (3年)	1m50	4.23
---	-----------	------	------

女子 走幅跳

1	小原 明恵 (4年)	4m87	10.8
2	大久保 渥子 (1年)	4m32	7.30
3	宮崎 彩 (3年)	4m09	9.9

女子 砲丸投

1	宮崎 彩 (3年)	6m50	10.8
2	河本 和美 (4年)	6m01	10.8
3	清水 里紗 (4年)	5m31	9.9

4 行事予定

- ・OB ゴルフコンペ 11/19
- ・倶楽部総会 3月中
- ・第1回東大競技会 4月上旬

- ・東京六大学対校陸上競技大会 4/14
- ・第2回東大競技会 4月下旬
- ・関東インターカレッジ 5月中
- ・東京地区国公立大学対校陸上競技大会 未定
- ・全日本インターカレッジ 未定
- ・国立四大学対校陸上競技大会 未定
- ・全国七大学対校陸上競技大会 7月末
- ・OB戦 未定
- ・一橋戦 未定
- ・京大戦 未定
- ・箱根駅伝予選会 未定
- ・第3回東大競技会 未定

5 主務より

箱根駅伝予選会の応援に駆けつけて下さいましたOB・OGの皆様を、卒年順に、敬称略でご紹介いたします。お忙しい中、温かい声援を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。

- 1948年卒 山崎英也
- 1967年卒 伊澤敏彦
- 1983年卒 小林徹
- 1988年卒 寺田秋夫
- 1994年卒 工藤麻衣子
- 1992年卒 松浦幹太
- 1993年卒 前田幸男
- 2001年卒 中台慎二
- 2001年卒 新妻拓弥
- 2001年卒 本田達也
- 2002年卒 池田紘士
- 2002年卒 辻拓一郎
- 2002年卒 宮崎徹
- 2003年卒 相原佑康
- 2003年卒 橋本武
- 2004年卒 岡本泰英
- 2004年卒 熊丸拓郎
- 2004年卒 田坂和彦
- 2005年卒 桑原明
- 2005年卒 目黒亜由子
- 2006年卒 稲垣誠
- 2006年卒 宮崎哲平

来シーズンも変わらぬご支援を賜りますよう、よろ

しくお願いいたします。 主務 山本 卓典



学部生1着でゴールした松本(3年)



学部生2着の石原(3年)と院生1着の中山(M1)



レース後の学部生チーム集合写真

文責：今村 岳